

2016年8月30日

「スマートアシスト」搭載車両の累計販売台数が100万台を達成

ダイハツ工業株式会社（以下、ダイハツ）が販売する軽自動車および小型乗用車に採用している衝突回避支援システム「スマートアシスト」搭載車両^{※1}の累計販売台数が2016年7月末時点で100万台を達成^{※2}した。

2012年12月発売の「ムーヴ」から採用を開始している衝突回避支援システム「スマートアシスト」は、2015年4月に「スマートアシストII」として進化。ダイハツが販売している軽自動車や小型乗用車に搭載している。

現在、ダイハツの軽乗用車では「ムーヴ」「タント」「ミライース」「ウェイク」「キャスト」、軽商用車では「ハイゼット キャディー」、小型乗用車では「ブーン」の合計7車種にスマートアシストを採用している^{※3}。スマートアシスト採用車両での搭載比率は7割を超えており、その機能と低価格の両立で多くのお客様にご支持を頂いている。



軽乗用車
タント X“SAII”



小型乗用車
ブーン シルク “GパッケージSAII”

※1：スマートアシスト、スマートアシストIIを含む

※2：OEM車両を除く

※3：ミライースはスマートアシストを搭載。その他はスマートアシストIIを搭載

以 上